



御  
供  
の  
花



この村では100年に一度、神への供物として子供が捧げられる。

ああよかった

丁を出そう

こいつがいる

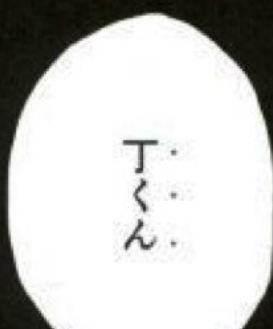
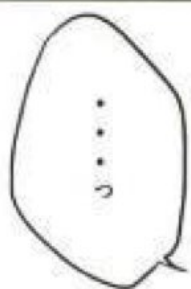
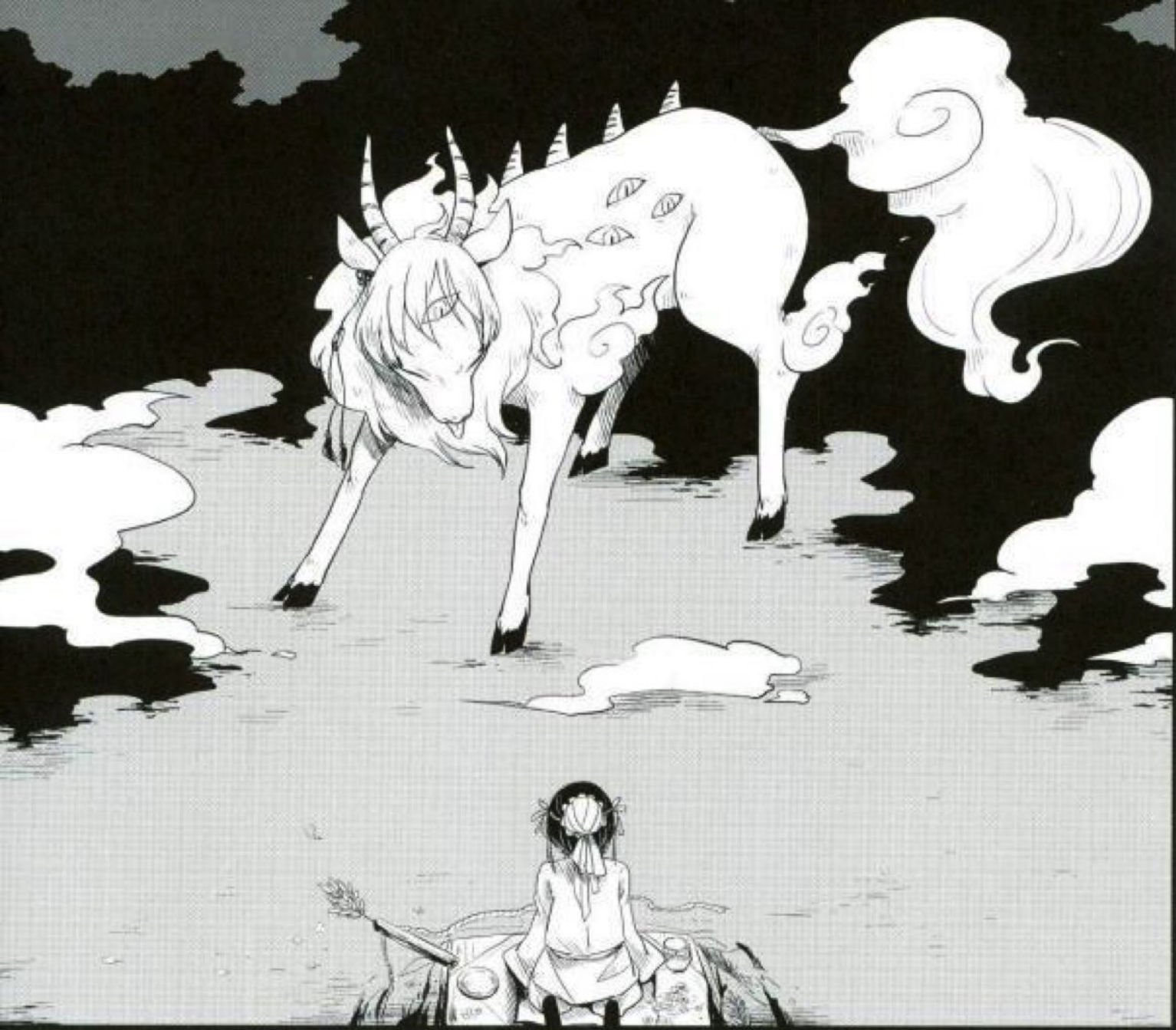
山神様も喜んで  
下さるだろう



















うーん  
調子狂うなあ



あなたは  
怖くありません



か、かわいいいいい

※心の叫び



?



ちようど今お腹が  
いっぱいなんだ

ああ、  
そうだ



わたしを  
食べますか

さあ  
どうだ





は



僕のお嫁さんになりなよ!!



僕本当は山神よりも神聖な神獣なんだ



その反応予想はしてたけど



なんで? 幸せにするよ



でもわたしはお嫁さんにはなれませんよ





わたしはおとこです!!



え



うーん

性別を間違えるなんて失礼ですよ



おとこです!!



そんな目で見ないで!!

じとー

あ、でも性別なんてこの際気にしな...

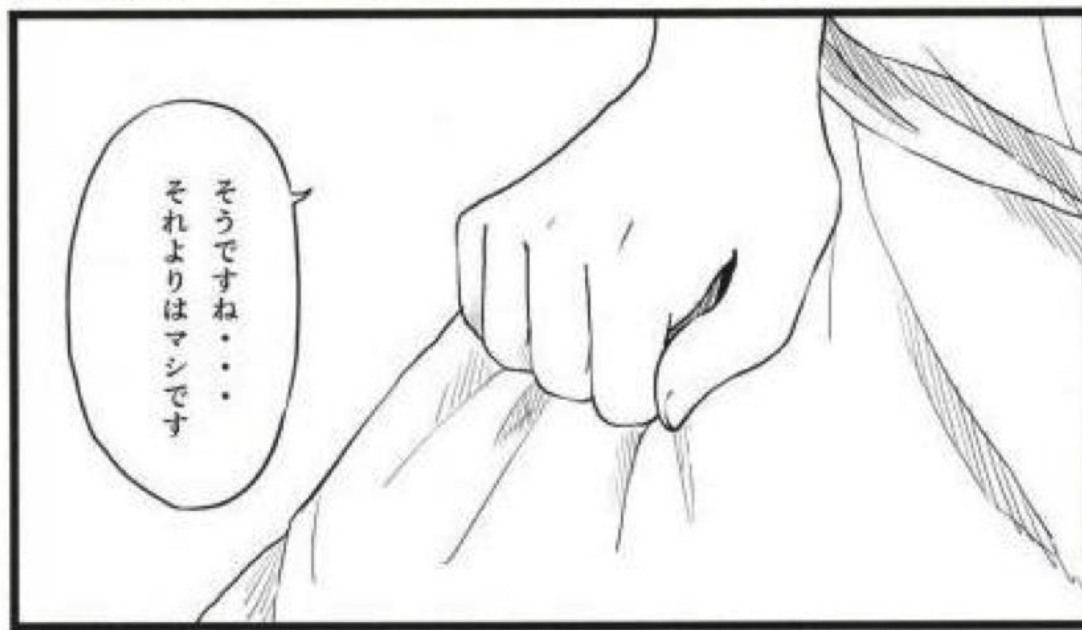
こんなにかわいい子なはずは...って





捧げられた君は  
僕のもの！

でも食べないで  
おいてあげる  
その代わり、  
僕のお嫁さん  
になってよ



そうですね・・・  
それよりはマシです



命取られるより  
マシでしょ？



僕と一緒に  
居るには  
人の時間は  
あまりに短い



でもひとつだけ  
？



だから君には  
人であることを  
捨ててもらわなくちゃ  
いけない

どうするん  
ですか



鬼になるんだ

その身体に  
鬼火を入れるの



鬼・・・

憑代にすると  
いうよりは  
鬼火を取り入れるって  
感じかなあ

それを  
受け入れ  
られる？



・・・構い

そっ  
安心











ななに  
どうしたの!?



ひ、ひえええええ



あ、



かわいい..



・・・疲れました





馬鹿げてるなあ



雨なんていくらでも  
降らせてあげるよ

めんどくさいけど。  
欲しいものは手に入った  
水神に掛け合ってあげる





村ひとつ流して  
しまおうか

ねえ  
丁くん

僕が君を  
幸せに  
してあげる





鬼灯の冷徹 Fanbook #02  
てにをは / みつ  
2013.01.06